

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年 3月 1日

事業所名 放課後等デイサービス マザーズ春江

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			その日の利用人数や、児童の特性に応じて活動内容のやり方を安全に行えるよう配慮している。	
	2	職員の配置数は適切である	○				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○				
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			朝礼、終礼、支援担当者会議により情報共有と意見交換ができている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			外部の研修への参加、外部から講師を招いての研修、及び社内での研修会を年間計画に則って実施。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			契約時にアセスメントシートを作成している。また定期的に更新している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			それぞれ委員会を設立して実施している。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年 3月 1日

事業所名 放課後等デイサービス マザーズ春江

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			年間を通して固定化しないようプログラムを作成している。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			長期休暇にしかできない活動内容や、地域交流などのお出かけの活動を実施している。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○				
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			朝礼を実施し、活動内容等を共有している。またパートさんには出勤時に共有を行っている。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			終礼を実施し、活動内容等を共有している。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			自社独自開発の連絡帳アプリを使用し記録している。また適切に記録できているか社内監査を通じ確認している。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			6か月以内に1回は実施している。また更新確認も全社を通じて管理している。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○				
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○			送迎時の受け渡し時に学校と情報共有を行っている。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			○		

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年 3月 1日

事業所名 放課後等デイサービス マザーズ春江

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者 との連携	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等との 間で情報共有と相互理解に努めている	○			移行支援会議に管理者が参加し ている。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事 業所から障害福祉サービス事業所等へ移 行する場合、それまでの支援内容等の情 報を提供する等している	○			保護者、相談支援員を通じ情報 提供を行っている。また必要に 応じ移行支援会議に参加してい る。	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や 研修を受けている	○				
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、 障がいのない子どもと活動する機会があ る	○			地域交流や、四半期プロジェク トの活動の一環で外部から児童 を招いている。	
	27 (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参 加している	○			参加し協議会へ相談も行ってい る。	
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について 共通理解を持っている	○			送迎時、連絡帳アプリを通じて 情報共有をしている。	
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング 等の支援を行っている	○				
保護者 への説明 責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	○			契約時に実施している。	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相 談に適切に応じ、必要な助言と支援を 行っている	○			欠席時にも保護者と情報共有を 行い適宜相談援助を行ってい る。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会 等を開催する等により、保護者同士の連 携を支援している	○			年に2回茶話会と称し交流の機 会を提供している。また、四半 期プロジェクトのイベントでも 保護者参加型にし、交流の機会 を提供できている。	
	33 子どもや保護者からの苦情について、対 応の体制を整備するとともに、子どもや 保護者に周知し、苦情があった場合に迅 速かつ適切に対応している	○				

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年 3月 1日

事業所名 放課後等デイサービス マザーズ春江

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			マザーズ新聞と称し活動内容等を保護者始め関係機関等へ配布している。	
	35 個人情報に十分注意している	○			終業時には個別台帳が入ったキャビネットの施錠と、外から見えないよう窓ガラス付近にパーテーションを設置。	
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			視覚支援等を行っている。	
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			地域交流や、四半期プロジェクトの活動の一環で外部からの参加者も招いている。	
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			契約時に配布。	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			2か月に1回の避難訓練を実施している。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			外部の研修への参加、メンタルヘルス研修の実施、及び社内での研修会を年間計画に則って実施。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			身体拘束の恐れがある場合には委員長始め主要メンバーを招集し委員会を実施して組織として慎重に身体拘束の可否について取り決めている。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			契約時に保護者と情報共有を行い、教室内職員に周知している。	
43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○					